



各務原 小旅行編



▲伝説の鯉、キクちゃん。

秋の小旅行に出かけませんか？  
さすがに朝晩、涼しくなってきましたね～。  
これから木々も衣替えの季節。私たちにとっては、目に美しい色彩豊かな季節となりました。  
気軽な小旅行に、出かけてみませんか？  
ご紹介するのは、岐阜県各務原界わい。ホントに近場です。  
犬山橋を渡ると、ナビが「岐阜県に入りました。」そうアナウンスしたかと思うと鵜沼駅です。  
あちらこちらの紅葉がきれいなことは言うまでもありません。  
今回は、「えっホント？」なの？と思う、伝説をご紹介。  
鵜沼駅から車で10分位の距離に芋ヶ瀬(おがせ)池があります。  
農業用の灌漑用ため池とされており、様々な伝説があります。周囲は約2 km、桜、藤、睡蓮の名所で池の中は八大竜王堂が祭られ、池の周囲には、薬王院、八大竜王本殿、八大白龍大神、芋ヶ瀬神社など、数多くの寺社があります。  
説によれば、この池は、奈良時代の770年頃、一晩でできたといわれています。池には大蛇、龍神が住むと言われており、竜宮城の入り口があるとか？(笑)  
芋ヶ瀬池の鯉は神の使いとされています。  
周りの柵から顔を覗き込むと、池には、あちらこちらに鯉が泳いでいます。手を池に向けて、エサを投げ込むフリをしようものなら、鯉がエサ目当てに集まってきます。  
大半は黒い色の鯉。その大群は、圧巻です。本当にエサなどをやりだすと、それはそれはすごい鯉の群です。エサを求め、鯉と鯉が音を立てながらぶつかり合い、水しぶきが上がります。その様子は祭りでぶつかり合う男たちのよう。池には、きれいな錦鯉もちらほらおり、ナマズ、カメなどもいます。  
ここからが、現代版の伝説です！  
夏の出来事ですが、池の鯉を覗いていると、エサの麩を10本以上も抱えたグループに会いました。話を聞くと、7年間、キクちゃんという名の鯉に会うために通っているとか…。  
なんとその時、キクちゃんが池から顔を出し、初めてキクちゃんに会えたとかで大盛り上がり。「キクちゃ～ん、キクちゃ～ん」と呼びながら手を振り、エサをやる…。  
キクちゃんが移動すると、みんなも移動して、まるでアイドルの追っかけのよう。キクちゃんが現れた時に、住所と名前と願い事をいうと、願いをかなえてくれるというのがキクちゃん伝説です。

実際にチャレンジしてみると、早口言葉のように言わないと、キクちゃんは池にもぐってしまいます。(笑)  
願いごとを言う時間を稼ぐためには、エサの麩は大きめにカット。なかなか食べられないので、水面で口をパクパクさせたり、他の鯉との取り合いっこなどで、時間が稼げるのです。  
もし、本当に鯉が神の使いなら、とても失礼な方法ですが、効果てき面です。(笑)  
ちなみにキクちゃんは、体調90cm位の黄金色のようなオレンジ色をした立派な鯉です。  
おがせ池で楽しんだ後は、ちょっと贅沢にお寿司でもいかがでしょうか？  
お寿司屋さんで聞くと、少しドキキしませんか？時価って、いくらなの…？みたいな。  
こちらのお寿司屋さん、『森海(しんかい)』さんは、価格設定がとてもシンプルです。3,000円と5,000円。最初のネタはおまかせで、4貫出てきます。次は、3貫自分で選び注文します。  
食べ終わったところで、また3貫選ぶ…という方式です。1貫300円で、3000円で10貫食べられます。  
建物の外観は山小屋風？で、温もりが感じられる素敵な建物です。店内に入ると、森の中に迷い込んでしまったかのような、斬新なインテリアです。(感激)  
こだわりのお店、森海さん、ネットでもぜひ、見てみて下さい。 <http://www.sushinkainet/>  
老後、暮らすなら各務原で…。そんなことを思ってしまうくらい、美味しく素敵なお店です。  
他にもこの近辺には、お値打ちで、おいしいお店がたくさんあります。また機会をみてご紹介しま～す。



森海(しんかい)

住所：岐阜県各務原市各務おがせ町 9-109  
電話：0583-84-0025  
営業時間：11:00～21:00 (21:30)  
定休日：ゴールデンウィークの後、お盆の後、年末12月31日の後、3～4日休み

